

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	昨年目標に掲げ取り組んできたことにより、以前に比べ地域の方々の事業所に対する認知度が上がり、協力体制が少しずつできてきている。しかし、まだ極一部の方々によるものが大きいため、今後も理解していただけるよう取り組む必要がある。	地域との関わりを密にし、馴染みの関係性をつくる。	・地域の行事等に積極的に参加し、理解していただけるよう努める。 ・地域の方を招いての行事等を企画する。	1年間
2	35		災害等に対し、近隣事業所と連携した対応ができるようにする。	・現在の対応の仕方(マニュアル等)を見直し、連携が必要な個所を挙げる。 ・連携可能か検討し、可能なものに対し具体的な連携方法(マニュアル)を作成する。	6ヶ月
3	21・48	昨年度から、余暇活動への取り組みとして身体機能低下・認知症の進行予防として、レクリエーションの強化に努めてきている。その結果、入居者様の表情が良くなり、意欲が出てきている。職員の意識改革にもなり、事業所全体の活気ある生活につながっているため、継続し更なる向上に努める。	身体機能低下予防・認知症の進行予防・活気ある生活を目指し、余暇活動に取り組む。	・レクをワンパターンにならぬようバリエーションをつけて行う。 ・行事やドライブの機会を増やす。 ・レクを学び、レパートリーを増やす。	1年間
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。